

# 江東区上空における北風時の新飛行経路

北風時の運用は、年間の約6割と推定  
 運用時間：7時～11時半、15時～19時(15時～19時については、  
 切替時間を含むため実質3時間程度の運用)

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用  
 ※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



離陸時(経路直下)の騒音レベル(L\_Amax[dB(デシベル)])

高度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
2,000ft(610m)	78	79	80	74	80	82
2,500ft(760m)	76	77	78	71	78	79
3,000ft(915m)	73	74	76	69	76	77
3,500ft(1,065m)	72	72	74	67	74	75
4,000ft(1,220m)	70	71	73	66	73	74
4,500ft(1,370m)	68	69	71	64	72	73
5,000ft(1,525m)	67	68	70	63	70	71
5,500ft(1,675m)	66	67	69	62	69	70
6,000ft(1,830m)	65	66	68	61	68	69

## 現状(航空機が飛んでいない時)の騒音レベル

- 住宅街(砂町銀座商店街付近)  
 平均値：約57dB  
 瞬間最大値：約66dB
  - 駅前(船堀駅前)  
 平均値：約63dB  
 瞬間最大値：約79dB
  - 幹線道路(葛西駅前)  
 平均値：約70dB  
 瞬間最大値：約81dB
- ※10分程度の簡易測定による参考値

- 離陸時(経路直下)の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値<sup>※</sup>を推計した値です。
  - ※ 航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
  - 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
  - 航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
- ※1 デシベルとは、音の強さを示す単位(音圧)。騒音レベル(L\_A[dB])での瞬間最大レベルを示したもの。  
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft(約305m)、離陸時で2,000ft(約610m)以上の高度で航行する場合のピーク騒音。  
 (一財)空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成